

2024年2月28日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が回復し、観光関連がやや持ち直している。一方、雇用情勢は横ばい、畜産関連、投資関連が弱含み、生産活動が低調となっている。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇の影響がみられる。

生産活動は、11月の鉱工業生産指数が17か月連続で前年を下回った。食料品は前年を上回ったが、窯業・土石製品、電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回った。

畜産関連では、1月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を上回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場はいずれも前年を下回った。

個人消費関連は、12月の家電大型専門店販売額、1月の軽自動車届出数は前年を下回り、12月の百貨店・スーパー販売額と1月の乗用車新車登録台数は前年をやや下回った。一方で、12月のコンビニエンスストア販売額はほぼ前年並み、12月のドラッグストア販売額は前年を上回った。

観光関連では、1月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を上回り、種子島・屋久島地区は3か月ぶりに前年を上回り、奄美地区は4か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回ったものの、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、12月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.20倍となった。

【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きもみられる。

12月の焼酎生産は、3か月連続で前年を上回り、出荷量は2か月連続で前年を下回った。

12月のかつお節生産は、15か月連続で前年を上回った。

1月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが5か月連続で前年を上回り、民間工事向けは4か月連続で前年を下回り、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

1月の紙パルプ生産は、前年をやや下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

1月の子牛の出荷頭数、価格ともに前年を下回った。1月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4が1.8%増、去勢A3が1.7%増でともに2か月連続で前年を上回った。12月の枝肉生産量は前年をやや上回った。

1月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は7.4%減と4か月連続で前年を下回った。12月の枝肉生産量は前年を上回った。

1月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は10.9%減と5か月連続で前年を下回り、むね肉は7.5%減と3か月連続で前年を下回った。1月の処理羽数は前年を上回った。

1月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は35.7%減と3か月連続で前年を下回った。12月の配合飼料価格は6か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... 回復

12月の百貨店・スーパー販売額は、飲食料品はほぼ前年並みとなったものの、衣料品が前年を下回り、全体では前年をやや下回った。

12月の専門量販店販売額は、家電大型専門店は前年を下回り、コンビニエンスストアはほぼ前年並み、ドラッグストアは前年を上回った。

1月の乗用車新車登録台数は、13か月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は10.9%増、小型車が17.2%減となった。

1月の軽自動車届出台数は2か月連続で前年を下回った。

【観光関連】... やや持ち直し

1月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月ぶりに前年を上回った。中国地方、関西、香港、中国などからの入り込みや個人客が増加した。

鹿児島地区は、韓国、中国、香港などからの入り込みや個人客が増加し、2か月ぶりに前年を上回った。

霧島地区は、九州、関東、韓国などからの入り込みや個人客が減少し、ほぼ前年並みとなった。

指宿地区は、九州、関西、中国地方などからの入り込みや個人客が増加し、3か月ぶりに前年を上回った。

種子島・屋久島地区は3か月ぶりに前年を上回り、奄美地区は4か月連続で前年を下回った。

1月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... 弱含み

1月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

12月の民間建築工事着工は、棟数は前年を上回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を下回った。

12月の新設住宅着工戸数は、貸家が前年を上回ったものの、持家、分譲が前年を下回り、全体では2か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、2.5%減となった。

12月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回った一方、輸入額は前年を下回った

12月の輸出額は、木材が前年を下回ったものの、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を上回り、全体では46.9%増と3か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を下回り、全体で5.4%減と2か月ぶりに前年を下回った。

【雇用情勢】... 横ばい

12月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.20倍となった。県内求人数を業種別にみると、卸小売、医療・福祉は前年を上回り、製造業、建設業は前年を下回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

12月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.8%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年と同数

1月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が2件で前年同月（2件）と同数だった。また負債総額は2億10百万円で前年同月（33百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)